



幸福実現NEWS

特別版
第21号

THE HAPPINESS REALIZATION NEWS

発行所 幸福実現党本部 東京都中央区銀座 2-2-19 〒104-0061
電話 03-3535-3777 ©幸福実現党本部 2011 年



写真：AP/ アフロ

東日本大震災は なぜ起きたのか？

浜岡原発は本当に
止めるべきだったのか？

ビンラディン殺害は正義か？

幸福実現党の大川隆法名誉総裁は5月8日、栃木県宇都宮市で「破邪顕正」と題する説法を行い、「邪なるものを指摘し、正しさを打ち立てたい」として、混迷する日本の政治への明確な指針を提示した。内容の重要性と緊急性から、法話内容を特別に紙上掲載する。(文責・「幸福実現News」編集部)

大川隆法が語る
宗教的真理

震災は

天の警告生口なのか？

私は今、日本にとって「破邪顕正」ということが大事なのではないかと思えます。「正しさとは何か」ということを、もっと国民に訴えかけるべき時なのではないかという気持ちが強くあります。

東日本大震災での救済も、物資の輸送や配布、仮設住宅、毛布の枚数など、もちろんこれも大事なことがあると思いますが、そうしたこの世間的な考え方を発信し、活動するのみでは、宗教としての本来の使命が果たせていません。そうした活動は幸福の科学がやらずとも、赤十字なり、さまざまなボランティアグループでもできなくはない活動です。

私たちは、根本原因のどこを訴えかけなければいいけません。

東日本大震災を自然現象としてのみとらえ、単なる被災対策としてすり替えていくとする傾向が強く出てきているように思いますが、それではいけません。

新聞やテレビあたりでは、揶揄、嘲笑されるような内容になるかもしれませんが、私はこれは「天の警告」だと考えています。警告はしばらく続いています。少

し前の経済危機から始まり、地震、津波、さらに食中毒でも死亡者が出ていますが、このままでは形を変えて続いていきます。根本的なところが治療されていないければ、何をやっても一

緒です。

中部電力の浜岡原発は、防波壁ができるまで運転停止することになりましたが、根本的なところを考えないと違う形で被害が出てきます。

何が言いたいのかというと「この国においては『正しさとは何か』を人々が理解し、求めようとしていないのではないかと。そして間違った場合、それを素直に認めようとしていないのではないかと」ということなのです。

幸福の科学は短くは2、3年前から、長くは20数年前から何度も何度も警告を出し続けてきています。それに耳を傾けなかったことに対して、反省を



大川隆法

おおかわ・りゅうほう

幸福の科学グループ創始者兼総裁。1956 年、徳島県生まれ。東京大学法学部卒業後、大手総合商社に入社。ニューヨーク本社勤務のかたわら、ニューヨーク市立大学大学院で国際金融論を学ぶ。81 年、大悟し、人類救済の大いなる使命を持つ「エル・カンターレ」であることを自覚する。86 年、「幸福の科学」を設立。著書は 700 冊を超え、仏法真理に基づく映画の製作総指揮も務めている。09 年、「幸福実現党」を創立し、現在、党名誉総裁。

迫る必要があると思います。

私は 1980 年代から、「正しい教え、真理が広がって、この国をその教えに

則った方向に導かなければ、ゴールデンエイジは開けないし、世界も救えない」と

申し上げています。それを無視したり、あるいは逆断したりするようなことが

平気で行われていることに

対して、「それなりの反作用が起きますよ」と申し上げ

ているのです。

今までの歴史から見ると、人類はそろそろ大きな事件に遭遇することになります。

その前哨戦として、今回の東日本大震災、その前のスマトラや中国の地震、アメリカのハリケーンなど、いろいろなことが起きています

が、これらは皆、警告です。地球レベルで、いろいろな警告が起きています。

そして、アフリカからアラビア半島では内戦、内乱が勃発して、価値観が激しく揺らいでいます。今、地球的に非常に危ういところを走っているのです。



〈幸福実現ニュース〉は、幸福実現党の活動報告や、日本、そして世界の政治・経済に対して、他のメディアにはない独自の視点と考察、先見性ある提言をご紹介します幸福実現党の機関紙です。1、2面はネットからダウンロードもできます(無料)。※幸福実現党の会員の方には、全4面のペーパー版が郵送されます(会員登録が必要です)。

PDF版ダウンロード(無料)はこちらから

www.hr-party.jp/media/newspaper.html

〈幸福実現ニュース〉に関するご意見・ご感想は news-editor@hr-party.jp

善悪の判断が弱い日本人



写真：ロイター / アフロ

5月1日、パキスタンに潜伏していたウサマ・ビンラディンは、米軍特殊部隊により殺害された。ワシントンで、作戦の一部始終をリアルタイムで見守るオバマ大統領ら。

正義の追求ではぶれないアメリカ

キリスト教圏とイスラム教圏は9・11以来、10年戦ってきて、最近、ウサマ・ビンラディンの殺害事件がありました。

オバマ大統領のように、ビンラディンを襲撃しているところを、刻一刻、報告を受けながら見守るということ、日本の首相官邸が

できるかといったら、できないと思います。報告を受けたら「やれ」と言った責任が生じるので、日本の官邸は聞きたくないはず。しかし、アメリカではトップが責任を取っています。それは、善悪について判断しているということ、判断を最初にしたのは

「こういうことを徹底的に許してはならない」という一線、ここを譲らないということ。だから、極右から極左に政権が移っても、この結論に関しては譲っていません。これがアメリカの「誇り」です。

「正義とは何か」ということに関しては、政党が極端から極端にぶれても、結論は変わっていません。旅客機をハイジャックして、そこに乗っている何百人もの無垢の人たちを武器に仕立て上げ、3千人の罪なき人々をビルごと吹っ飛ばしたテロに対して「絶対にけじめをつけなければいけない」と、はっきりと

「世界中が今後そのようなテロに襲われ続けるのは絶対に許せないことなので、誰かが立ちあがらねばなりません。そこで世界最強のアメリカが責任を持って立ち上がり、戦ったわけです。『チェンジ』を訴えて替わったオバマ大統領ではあっても、結果について落とし前をつけるということについては、全くぶれていません。

アメリカがぶれなかったということ、よく見ておかねばなりません。彼らは政治的な勝ち負けや、党派的な競争心よりも、「神の正義とは何か」「正しさとは何か」を追求しているのです。

「そういうことはやめましょう」となるはず。それは善悪の基準がとても弱いからです。

今、この時代に必要なのは、「正しさとは何か」を打ち立てること。そのためには、正しさそのものを問う前に、邪なるものをはっきりと指摘することも大事です。

これは日本人の非常に弱いところ。善悪の分け方が非常に弱い。これは欧米的に言うところ、知恵が弱いことに相当します。善悪のけじめをはっきりつけず、判定しないのは、結局、知恵がないのと同じことなのです。こうした風潮の中で、民主主義を押し進めても、基本的な流れが善悪の判断ができない方向に進んでいくことです。

東日本大震災への責任が問われる菅首相と仙谷官房副長官。

写真：ロイター / アフロ



幸福の科学グループ創始者兼総裁
幸福実現党創立者兼名誉総裁

大川隆法

幸福実現党の最新刊

6月初旬発刊!



好評発売中

国家的危機をプラスに転じさせる
復興プランは、これだ!

震災復興への道
日本復活の未来ビジョン

定価 1,470 円 (税込) 発行 幸福実現党

憲法9条では、もう
日本の平和は守れない。

日本危うし!

平和への決断

国防なくして繁栄なし

定価 1,575 円 (税込) 発行 幸福実現党



幸福の科学出版

<http://www.irhpress.co.jp/>

0120-73-7707

FAX.03-6384-3778

1,470 円以上 国内送料無料

幸福の科学出版の書籍はホームページ、電話、FAXでもご注文いただけます。

メールマガジン Happiness Letter

幸福実現党がタイムリーに日々のニュースにするど切り込む情報が、ほぼ日刊メルマガとして発行中です。この機会にご登録をぜひどうぞ!
PCからは→ <http://www.mag2.com/m/0001054021.html> 携帯電話からは→ <http://mobile.mag2.com/mm/0001054021.html>



浜岡原発を止める前に 自らが辞職せよ

東日本大震災についても、責任は非常に大きいです。一体だれが責任を取ったんですか。だれも取っていません。自然現象と言え、自然現象という言い方もできるでしょう。唯物論の国だから、責任を取る人が出ません。自然現象が起きたと思っっているからです。

これは絶対に政治責任があります。これが分らないのなら、政治音痴としか言いようがありません。今回の震災を梃子にして「政治的に延命が図れる」と腹黒く考えているのであれば、許すことはできません。これは「正しさとは何か」を考える上で重要なことです。

原発の風評被害もいろいろと言われていますが、政府の報道に対する指導が全くなっていないませんでした。特に外国報道に対して手が打てていなかったことへの

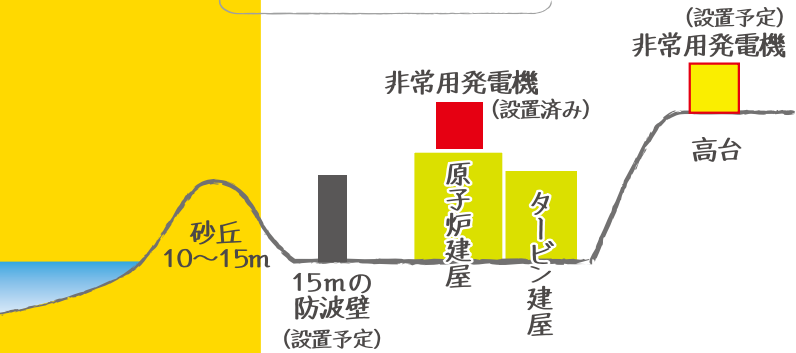
福島原発の問題が世界に波及し、エネルギーや原発事情に大きな影響を与えています。政府の説明が十分でないために誤解も数多く与えました。

福島第一原発で何が起きたのか

福島第一原発の事故について、政府やマスコミ、市民運動家らは「原発の危険性」の問題として取り上げています。しかし、その原因は受電鉄塔が倒壊して外部電源を喪失したことに加え、津波で非常用ディーゼル発電機が水没して故障し、冷却水が循環しなくなったことにあります。

地震によって原子炉の緊急停止装置が稼働し、核燃料の連鎖反応自体は止まっていた。問題の本質は、予備電源の津波対策にあるのです。

浜岡原発の津波対策



浜岡原発を止める必要はない

浜岡原発は東海地震の想定震源域にありますが、国の耐震安全基準はクリアしています。停止にあたり津波対策が焦点となりましたが、浜岡原発は各号機の原子炉建屋の屋上に非常用発電機を設置済みで、電源車も確保されており、さらに高台にも非常用発電機を配備する予定でした。防波壁建設も大事ですが、他の津波対策が打たれており、2年間も運転を止める必要はありません。

浜岡原発停止の影響

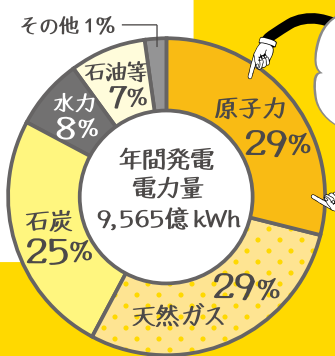
今回、浜岡原発が停止されたことにより、全国各地の原発周辺住民の不安が高まってしまい、現在、停止中の原子炉の運転再開の見通しが立たなくなっています。

福島第一原発の事故を受け、定期検査の終了予定を過ぎても運転再開を延期している原発は現在 6 基。今夏までに 6 基が定期検査に入る予定で、これらの原発が再開できなければ、国内の原子炉 54 基のうち 42 基が運転停止の事態に陥ります。

日本は総発電量の 3 割を原発に依存しており、中東諸国の政情不安が石油の安定供給に影響を及ぼすなか、わが国のエネルギー安全保障は窮地に立たされることになります。

原発54基の現状

5月14日現在



電源別発電電力量の実績 (2009 年度)
※「原子力・エネルギー」図面集 2011」から作成

経済を3分の2に 縮小するつもりか

「浜岡原発をやめる前に、自分が先に辞めなさい」と言いたい。

実に卑怯(ひきょう)です。もっと潔くあってほしい。自分たちの無明(むみやう)に関して、判断がつかなかったことに対して、対応の不備に対して、アナウンスの不十分さに対して、先見性のなさに対して、

中部電力の浜岡原発においても、「15メートルの防波壁ができるまでは原発を止める」と言っています。いずれ地震や津波が起きる可能性はあるかもしれませんが、ほとんど菅首相の責任逃れにしか見えません。

次のときには「ちゃんとやった」という言い訳を作ろうとしているのだからと思います。その時には他の人に責任を取ってもらうたらいいんです。「今回の責任は自分が取れ」ということです。「浜岡原発をやめる前に、自分が先に辞めなさい」と言いたい。

て、きちんと国民に対して説明し、謝罪してください。アメリカは、福島第一原発の問題があったにしても、オバマ大統領は「原発を続ける。あれはクリーンエネルギーだから」と言い切っています。これは発電機による事故であって、原発の事故ではないことを理解しています。原発なくしてエネルギーを確保するのは相当大変で、CO₂排出を止めることと矛盾する方向だと十分に彼は知っています。

として、国益としてやらねばならないこと」「世界の正義としてやらねばならないことは何であるか」を問い続けて、少しずつ進歩しています。日本のほうは、全く進歩していません。菅首相は市民運動の時から原発反対論者でしょう。だから今回の事故を奇貨(きか)として、原発をなくしてしまいたいと思っています。

しかし、その後のエネルギー事情をどうするのでしようか。最終的にこの国をどうしていくつもりなのでしょう。今の感じでは、3分の2ぐらいの規模にまで経済を縮小するつもりなのでは。原始時代に戻りたいのでしょうか。そうなるからもう一回元に戻すのは、大変なエネルギーがいります。



「菅首相の退陣を求めるデモ」を敢行

ここに掲載した法話「破邪顕正^{はしゃけんしやう}」を受け、全国各地で「菅首相の退陣を求めるデモ」が開催されています。

5月14日には、東京都内2カ所と仙台でデモが行われ、東京・渋谷には約2000人が集結。渋谷駅前の街宣では、幸福実現党のついき秀学党首らが国難に対して強い警鐘を鳴らしました。

ここに掲載した法話「破邪顕正^{はしゃけんしやう}」を受け、全国各地で「菅首相の退陣を求めるデモ」が開催されています。

ここに掲載した法話「破邪顕正^{はしゃけんしやう}」を受け、全国各地で「菅首相の退陣を求めるデモ」が開催されています。

ここに掲載した法話「破邪顕正^{はしゃけんしやう}」を受け、全国各地で「菅首相の退陣を求めるデモ」が開催されています。

日本人にとって非常に大事なことは、「正しさとは何か」を求めることです。そして「正しさとは何か」を探索する前に、間違っているものに対しては、きちんと「間違っている」と批判することです。「邪^{じや}」を破り捨てることのなかに「正しさ」が自ずと立ち上がってくると思います。

正しい報道をしてきたのか。判断をしてきたのか。きちんと検証してほしいと思います。そして、正直であってほしいと思います。そのなかにフェアネス、公正さがないなら、「民主主義の旗手」を語る資格はありません。

この国はまだ狂ったままです。正しく立ち上がっていません。戦後60数年経って一定の経済レベルになって、そしてまた衰退へと向かおうとしています。精神的な価値を生み出すことが

来年、私たちは映画を2本、上映するつもりでいます。一つは「ファイナル・ジャッジメント」、もう一つは「神秘の法」です。二つの映画とも、日本が他国

に侵略された後の姿を描いている。予言の映画です。「このままではこうなるぞ」と日本人に対して警告をします。あとで「観^みていなかった」なんて言わせません。

米軍が三陸沖で「トモダチ作戦」として日本の救援をしたときに、同時に日本防衛もやってくれました。自衛隊が復旧作業に追われて手が出せないのをいいことに、中国やロシアの不審な航空機が領空接近などを繰り返しましたが、米軍が対応できる態勢を取っていました。

米軍の普天間飛行場移設問題が焦点となった昨年の

外国からの侵略 が待ち受けている

今、求められる 光の灯台

幸福の科学グループの被災地支援



幸福実現党では3月11日から義援金募集を開始。これまでに約5900万円が集まり、被災地の自治体に寄付を行いました。震災発生翌日には、党スタッフが救援物資を届けに空路で被災地入りしました。

幸福の科学グループでは、このように生活必需品を現地に送ったり、犠牲となった方々の慰霊や、被災地の復興を祈る祈願をとり行っています。

またこのたび、宮城県仙台市に「仙台正心館^{しょうしんかん こんりやう}」の建立を決定しました。犠牲者の鎮魂とともに、東北地方に真理の光を届ける灯台としての役割が期待されています。

あなたは、ひとりじゃない。

あなたを見守るまなざしがある。
つながっている誰かがいる。
あなたは、決してひとりじゃない。
そして、朝の来ない夜はないから。
人生の歩み、どうか止めないで。



自殺を減らそうキャンペーン

With You 自殺しない 検索 www.withyou-hs.net

幸福の科学

幸福の科学では、2003年から「自殺を減らそうキャンペーン」に取り組んでいます。

